

特別型式「左回転 閉」

この書類は次の型式シリーズのアクチュエータ取扱説明書を補完するものです：

SA 07.2 ~ SA 16.2 / SAR 07.2 ~ SAR 16.2 / SAEx 07.2 ~ SAEx 16.2 / SAREx 07.2 ~ SAREx 16.2
 SA 25.1 ~ SA 48.1 / SAR 25.1 ~ SAR 30.1 / SAEx 25.1 ~ SAEx 40.1 / SAREx 25.1 ~ SAREx 30.1
 SQ 07.2 ~ SQ 14.2 / SQR 07.2 ~ SQR 14.2 / SQEx 07.2 ~ SQEx 14.2 / SQREx 07.2 ~ SQREx 14.2
 SAV 07.2 ~ SAV 16.2 / SARV 07.2 ~ SARV 16.2

特別型式「左回転 閉」の場合、以下の点にご注意ください。

手動操作

ハンドホイールを左に回すと、バルブは「閉」方向に動きます。

回転方向の変更を明示するため、アクチュエータのハンドホイールに相応のマークが記されています。しかし稼働中は、このマークに注意が払われない事がしばしばです。そのため、設備内に追加の注意事項を取り付けることを推奨します。

電子制御ユニット装備のアクチュエータ

結線図TPA:

スイッチの名称は、標準結線図とは異なります：

- トルクスイッチDSRはDSLとなります
- トルクスイッチDÖLはDÖRとなります
- WSリミットスイッチWSRはWSLとなります
- リミットスイッチWÖLはWÖRとなります

リミットスイッチを設定する:

該当する取扱説明書をご覧ください。

全開位置 (赤い部分) を設定する

1. 手動操作にします。
2. バルブが開くまで、手動ハンドルを時計方向に回します。
3. 手動ハンドルを約 1/2 回転(アフターラン) 回し戻します。
4. 設定軸 [1] をドライバーで常時押し下げることによって矢印の方向に回します。その際にポイント [2] を注視します。噛み合うのが感じられその音が聞こえたら、ポイント [2] が 90°移動します。
5. ポインタ [2] が印 [3] まであと 90°の位置まで来たら：ゆっくりと回し続けます。
6. ポインタ [2] が印 [3] へ移動したら：回すのを止めて設定軸を放します。

全閉位置 (黒い部分) を設定する

1. 手動操作にします。
2. バルブが閉じるまで、ハンドホイールを反時計方向に回します。
3. 手動ハンドルを約 1/2 回転(アフターラン) 回し戻します。
4. 設定軸 [4] (図) をドライバーで常時押し下げ、矢印の方向に回します。その際にポイント [5] を注視します。噛み合うのが感じられその音が聞こえたら、ポイント [5] が 90°移動します。
5. ポインタ [5] が印 [6] まであと 90°の位置まで来たら：ゆっくりと回し続けます。
6. ポインタ [5] が印 [6] へ移動したら：回すのを止めて設定軸を放します。

図1:リミットスイッチを設定する



特別型式「左回転 閉」

中間位置を設定する(オプション)

設定はアクチュエータの取扱説明書の記載に従って行ないます。しかし、以下の違いがあります。

- 設定軸[4]
を回します(黒い部分)。
- 設定軸[1]
を回します(赤い部分)。

図2: 中間開度を設定する



トルクスイッチを設定する:

設定はアクチュエータの取扱説明書の記載に従って行ないます。しかし、以下の違いがあります。

- 全開位置の設定は、黒いトルクダイヤルで行ないます。
- 全閉位置の設定は、白いトルクダイヤルで行ないます。

図3: トルク測定ヘッド

開設定



閉設定



ポテンシオメータを設定する(オプション):

設定はアクチュエータの取扱説明書の記載に従って行ないます。しかし、以下の違いがあります。

- アクチュエータ・シリーズSA..., SQ...の場合停止するまで、ポテンシオメータ [1] を反時計回りに回します。